

食味の良い東北地域向け直播用水稲品種

萌えみのり

- ◆栽培適地は、東北中部以南です。
- ◆「あきたこまち」「ひとめぼれ」より約1〜2割多収です。
- ◆稈長は短く、倒れにくく、直播栽培に適しています。
- ◆「あきたこまち」「ひとめぼれ」並に美味しいお米です。
- ◆業務用米としての利用に適しています。

育成のねらい

直播栽培は、農業の担い手不足や輸入米との競合などを背景に、省力・低コストで良質・良食味米の生産が可能な技術として期待されています。

そこで、倒れにくく直播栽培において多収で、かつ食味が良い東北地域向けの品種「萌えみのり」を育成しました。

品種の活用面

岩手県、宮城県、秋田県、山形県、茨城県の産地品種銘柄に設定され、2017年には約1,300haの作付けがありました。東北地域で広範囲に普及しています。規模拡大や複合経営への導入が容易です。

栽培特性

直播栽培の出穂期は「ひとめぼれ」よりやや早いです。直播栽培でも倒伏は少なく、多収です。

品質特性

「あきたこまち」や「ひとめぼれ」と比べてもひけを取らない美味しさです。

栽培上の留意点

いもち病に対する抵抗性は「ひとめぼれ」と同程度です。適正な防除をしてください。

高温耐性が弱いため、登熟期の高温による白未熟粒が発生しやすい地域では栽培を避けてください。

「萌えみのり」の直播栽培



品種名	出穂期 月/日	成熟期 月/日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏程度 0-5	精玄米重 kg/a	同左比率 %	玄米千粒重 g
萌えみのり	8/10	9/23	70	18.1	548	0.7	67.6	128	23.3
ひとめぼれ	8/14	9/26	87	18.3	513	2.8	52.7	100	22.4

育成地(秋田県大仙市)における2009~2011, 2013年の直播(条播)の結果。倒伏程度0:なし~5:全面倒伏

玄米の品質

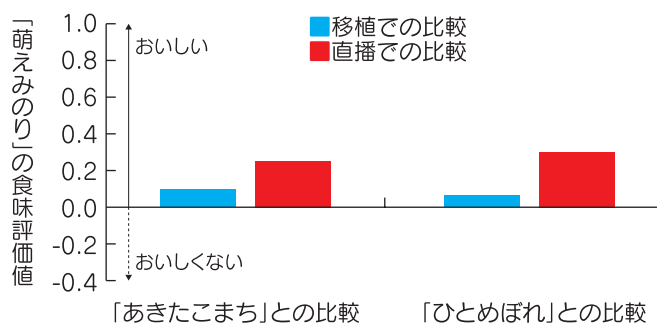


萌えみのり

ひとめぼれ

やや大きく厚い米粒。精白米の白度が高い(白い)。

食味試験の成績



比較品種との相対評価(5~14回の平均値)
-3(おいしくない)~+3(おいしい)
(2000年~2005年の結果)

《種子に関するお問い合わせ先》

農研機構東北農業研究センター 企画部 産学連携室 産学連携チーム
電話.019-643-3443 FAX.019-643-3588

《利用許諾に関するお問い合わせ先》

農研機構本部 知的財産部 知的財産課 種苗チーム
〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 電話.029-838-7390 FAX.029-838-8905

品種に関するお問い合わせは 農研機構東北農業研究センター 企画部 産学連携室まで

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4
電話.019-643-3414 FAX.019-643-3588

メール.www-tohoku@naro.affrc.go.jp http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/tarc/

※「農研機構」は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム(通称)です。

東北農研

検索

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。